

## 皮膚症状・爪への対処方法

### 1) 原因

皮膚：抗がん薬の使用で皮膚細胞が傷害され、皮膚の変化が起こります。

爪：抗がん薬の使用で皮膚細胞が障害され、爪の変化が起こります。

### 2) 症状

皮膚：乾燥、かゆみ、色素沈着、赤み、腫れ、発疹などです。

爪：乾燥、変形、亀裂、浮き、変色、二枚爪、巻爪など爪の発育に影響を及ぼします。

### 3) 予防と対処

① 正しいスキンケア（保清・保湿・保護）を行いましょう。



【保清】…皮膚・爪を清潔に保つ

- 毎日、入浴またはシャワーをしましょう。
- 熱いお湯では皮膚の脂分が取れて、乾燥する場合がありますので、ぬるめがお勧めです。

【保湿】…皮膚・爪に潤いを与える

- こまめに保湿剤を使用し、乾燥から皮膚を守りましょう。

【保護】…刺激を避けて、皮膚・爪を守る

- 紫外線対策をしましょう。
- 外出時は帽子や日傘、長袖の上着、UV加工手袋、スカーフを使用しましょう。
- 日焼け止めクリームを使用しましょう。（塗る順番：保湿剤→日焼け止め）。

\*新しい製品へ切り替えて症状や違和感がある場合は、使用を中止して下さい。



＜日焼け止めの選び方＞SPF：30以上  
PA：++以上 低刺激のもの

② 毎日皮膚の観察を行いましょう。

症状の出現、悪化がみられた際には、医師・看護師・薬剤師へご相談下さい。  
炎症がある場合はステロイド薬によって炎症を抑えます。

点滴中に赤みやかゆみ、発疹など出現した場合、使用薬剤によるアレルギー症状の可能性あります。すぐにナースコールでお知らせ下さい。